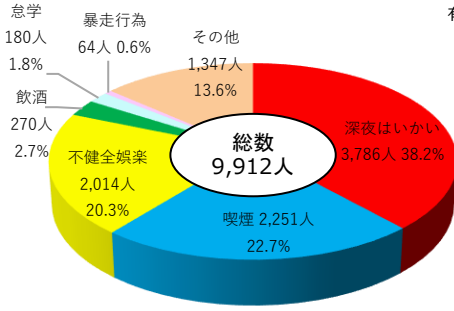
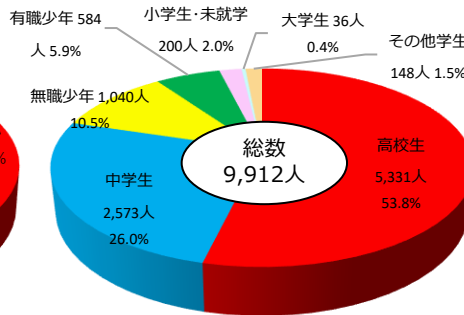


# 不良行為少年の補導状況

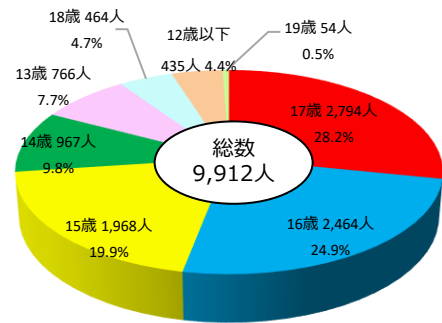
## 《行為別状況》



## 《学職別状況》



## 《年齢別状況》



### ◆ 喫煙と深夜はいかいで全体の約6割

令和7年中に不良行為で補導された少年は、9,912人（前年比+803人）であり、行為別では、「深夜はいかい」、「喫煙」で全体の60.9%を占めています。

### ◆ 高校生と中学生で全体の約8割

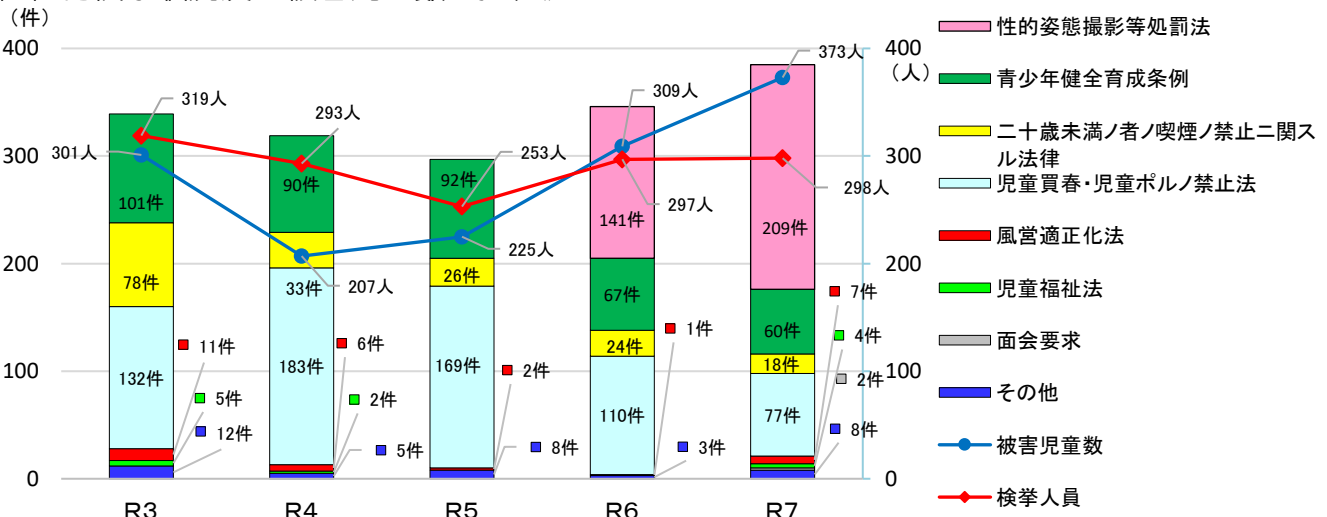
学職別では、高校生が5,331人（同+202人）と最も多く、中学生は2,573人（同+379人）となり、高校生と中学生で全体の79.8%を占めています。

### ◆ 15歳～17歳で全体の約7割

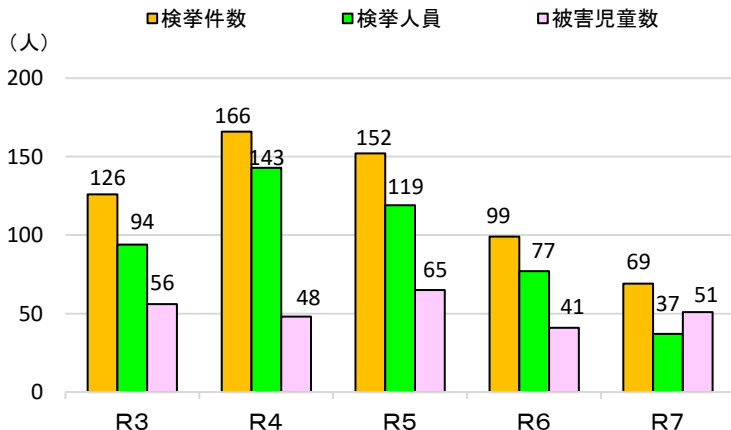
年齢別では、17歳が2,794人（同+181人）と最も多く、次いで16歳が2,464人（同+140人）となっており、15歳から17歳の年齢層で全体の73.0%を占めています。

# 少年の福祉を害する犯罪の検挙及び被害状況

## 《福祉犯検挙状況及び被害児童数の推移》 ※令和6年の統計から福祉犯に「性的姿態撮影等処罰法」、「面会要求罪」が追加。



## 《児童ポルノ事犯検挙状況及び被害児童数の推移》



### ◆ 福祉犯検挙件数及び被害児童数は共に高水準で推移

・令和7年中の福祉犯検挙件数は385件であり、高水準で推移しています。  
 ・福祉犯検挙件数のうち、性的姿態撮影等処罰法が209件（前年比+68件）、児童買春・児童ポルノ禁止法が77件（同-33件）、青少年健全育成条例が60件（同-7件）、二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律が18件（同-6件）となっています。  
 ・児童ポルノ事犯の検挙件数は、69件（同-30件）となっており、その被害児童数は51人（同+10人）となっています。